



## 「心のオアシス 道德教育だより」発行について

平成31年度、中学校では、「特別の教科 道德」の授業が実施されることとなります。それにともなって本校では、指導体制や指導計画の見直しを図り、改訂の趣旨を生かした研究を進めていきます。授業や体験的な活動で道徳的实践力を向上させることは必須ですが、今期の改訂では、道德教育について家庭や地域社会との連携も大切となってきます。昨年は、「学校だより」で道德の取組を紹介してきましたが、今年度は、さらに内容を拡大して道德の实践を紹介していきます。

## なぜ、道德が「特別の教科」として位置づけされたのでしょうか？

いじめ問題等が大きな社会問題となり、その解決を目指すと同時に、子供たちの自尊感情や規範意識の高揚など心と身体の調和のある人間の育成を目標とするために新たに教科として位置づけられました。また、従来の道德から、答えが一つではない道徳的な課題を、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え向き合う「考える道德」「議論する道德」へと転換されていきます。



### 3学年の实践

《資料名》

グループ活動”これだけは許せない”ランキング

《内容》グループ活動をするときに「許せない！」行動を考え、よりよいグループ活動に必要な姿勢について考えさせるもの

《生徒の声》

- ・「自分が嫌だと思うことは人にもやらない」ということが重要だなと思いました。
- ・次回は「これをされたら嬉しい！」というようなポジティブなランキングも作ってみたい。
- ・班でのコミュニケーションが大切な修学旅行に向けて、今日の話し合いを忘れずにいいグループ活動をしていきたい。

## 4月の道德 各学年の实践

### 1学年の实践

《資料名》「別にメーワクかけてないし」

《内容》人に迷惑をかけていないのだから良いではないか、という結論に結び付けるのではなく、望ましい生活とは？ということに着目させた。

《生徒の声》

- ・人に迷惑がかかっていなくても、みっともないことやだらしなないことをしない人になりたいと思いました。
- ・私は、言われる人と言う人とは考えていることが全然違うんだなと思いました。私も注意する側の人の気持ちを考えて行動したいです。

### 2学年の实践

《資料名》「まにあえばモンダイないし」

《内容》「宿題の提出日」や「5分前集合」という中学校生活での身近な出来事についての本質的な意義を考えさせるもの

《生徒の声》

- ・1つのことに対して多くの考え方があることが分かりました。
- ・お互いに考えを伝えて「そうだなあ」と思うこともたくさんありました。

《先生方より》

入間野中で行っている「2分前着席」を話題にあげたところ、決まりやルールに価値をおく生徒が多く見られました。実際に行動へと移すことができるよう、意識を高く持ってほしいと思います。